

1 文献名
『迫塩小学校閉校記念誌 はくえん』
2 学校名
迫塩小学校
3 災害名
昭和 28 年（1953 年）台風第 13 号
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
（2）学校内や地域の被害の状況
戦後長らく完成していなかった木造新校舎の建設が、生徒の増加を見越して計画されたが、台風 13 号襲来で、建築途中完成をみず、崩壊した。（P82）
（3）復旧の様子
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他

1 文献名
『迫塩小学校閉校記念誌 はくえん』
2 学校名
迫塩小学校
3 災害名
昭和 34 年（1959 年）伊勢湾台風
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
（2）学校内や地域の被害の状況
宮ノ谷の東側校舎 1 棟 4 教室が崩壊し、近接する八柱神社境内の大木が倒れ、民家の屋根を押しつぶした。寺の松の巨木が倒れた。 民家が多数壊れ、海では、真珠筏が壊れたり、船が陸に乗り上げたりしていた。山林、田畑、農作物にも大変な被害が出た。（P85～86）
（3）復旧の様子
多くの関係者の尽力で、急遽、青年会館が教室へと改修され、分散授業が行われた。（P86） 地域住民の復興の努力により、新しい家屋がみられるようになり、新校舎も建ち、その何年か先には現在の場所に広い運動場を備えたすばらしい鉄筋コンクリートの近代的な小学校が完成した。（P85）
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他